

社会司牧通信



202503

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

★2025年 四旬節教皇メッセージ (2025.3.5)

教皇フランシスコのためにお祈りください。



★日本カトリック正義と平和協議会 全国集会 講演会 1/31 YouTube 配信



2025年日本カトリック正義と平和協議会全国会議公開講演会

「希望は欺かない 正義と平和の50年と分断の時代」

講演：松浦悟郎司教（正義と平和協議会元会長 名古屋教区教区長）

Sr.弘田しずえ（正義と平和協議会専門委員 ベリス・メリセス宣教修道女会）

★日本カトリック正義と平和協議会 50年記念『「正義と平和」の50年』発行



★平和アピール 1981 YouTube 配信

①山口島根地区 2/15



平和アピール 1981 聖ヨハネ・パウロ2世教皇来日記念行事 祝ノーベル平和賞受賞 ノーモア核兵器・核使用 日本被団協・田中聰司先生の講演

②広島地区 2/23

平和アピール 1981 聖ヨハネ・パウロ二世 来広記念行事 李聖一神父「被爆二世として思うこと」



③岡山鳥取地区 2/23

教皇来広記念講演「キリストと同じ夢を見る」松浦司教

★3月第4金曜日 2025年「性虐待被害者のための祈りと償いの日」にあたって日本カトリック司教協議会会長呼びかけ



★カトリックシスターズウィーク|伝統を称え、世界を変える

毎年3月8日～14日は、日頃お世話になっているシスターたちに感謝するWEEKです。

#LikeaCatholicSister #わたしの出会ったシスター #わたしがシスターです
で、大好きなシスターの写真や、シスターと一緒に写真をSNSに投稿しませんか！

●3・11 東日本大震災 追悼と復興への祈り

2011年3月11日午後14時46分 東日本大震災から14年。

この日いちにち、東日本大震災を思い起こし犠牲者の追悼、被災地の復興のため、祈りの日にしませんか。各自の可能な場所・時間でところをあわせて、ともに祈りましょう。



●3/9ZOOM 講演会のご案内（武藤類子さんは福島原発訴訟団の団長です。）要申込↑↑ 武藤類子さんがドイツ団体の「環境賞」を受賞：3/9に記念イベント | 国際環境 NGO FoE Japan

ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)



毎年二月になるとやってくる、小林聖心高校の黙想会。今回はエコロジーをかなり中心に据えながらやってみようと、そのタイトルを「木の下で神の国をつくる」とした。さて、ホテルの朝食時、何気なく手に取った新聞にどんぴしゃりの文章を見つけた。読書感想文のコンクールに入賞した小中高生の文章の中に、高校2年生の書いた「木と生きていく」が掲載されていた。彼女は、植林活動に参加したこともあるが、その体験によって木への親しみや愛情は湧かなかったという。しかし、幸田文著『木』を読み、招かれるように屋久島を訪ね、縄文杉を見たときに、その木が本当に生きていて感じられた、どんな木にも物語があることに気づかされた」と記していた。「どんな木も努力をしてその背を伸ばし、その物語を私たちに語りかけている」というメッセージは、私の心に染み通りながら、黙想会のタイトルの中に刻まれている私自身の木々との物語を思い出させてくれた。

6年ほど前に、台湾を訪れた折に、8日間の黙想をした。その時、同伴してくれた司祭が一番最初に提示してくれた黙想箇所は、列王記の19章だった。偽預言者との戦いに疲れ果てたエリヤが荒れ野に逃げ込み、一本のえにしだの木の下に座る場面である。神のみ使いが現れ、パン菓子（みことば）と水（聖霊）を与えられて、力を取り戻す。

「淳神父さんも木の下に入って一番深いところで欲している神さまからのメッセージを受けたい」と言われた。それからの8日間の黙想は、緑の自然豊かな黙想の家の敷地で、木の下に入って祈り、どんな状況でも神の慈しみは注がれていたのだということを確認する時間となった。

数年前に、自分の生活に変化をもたらしてくれたのも振り返ってみると、一つの木であった。私の住んでいる下関のひよりやまから北九州の方へと目をやると、すぐ目の前の隣家に、海峡を見下ろし、ひよりやま全体を見守るような大きな木が生えている。ある友人が「その木に心を向けてみたらいい」と言われてから、私の生活に少しずつ変化が訪れた。その隣家のお婆さんに木の物語を訪ねると、太平洋戦争の空襲で家に火がついた時に、蓄えていた水をバサッと落としてくれて家を守ってくれたという答えが返ってきた。そうか、この木は、本当にこの山のいのちを見守っているのだな、と驚きながら確認した。そしていつしか私は、その木が見下ろすセンターの空き地を畑にしようと大地を掘り始めた。振り返ってみると、それは大きな木との対話のなかで生み出されていったものだったように思う。

「木は、自分が花を開くべき季節まで懸命に枝をのばし、今日も絶え間なく成長し続けている。その時がくれば、必ず花を咲かせる。私たちは、どうだろうか。生き急いだり、近道がないかを探したりと、長い間努力をすることを怠ってはいないだろうか。」木と向き合うことから、自分自身の生き方を問う。そして、あの美しく雄大な感想文を書いた高校生の文章は、これからの人生での木との出会い、木との対話への期待と希望で締めくくられる。



私も木の下で、木と共に生きてゆきたいと思う。

★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口 ★

広島教区人権擁護デスク

受付時間 木曜日（祝日を除く）9:00～16:00 電話番号 080-9795-3676

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social

『ともに歩むあたたかさのある教会をめざそう～あたたかさの源泉に立ち帰る（典礼活動）』

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019

ホームページ <https://www.social-desk.net/> E-Mail info@social-desk.net